

アメリカンフットボールの第46回北海道学生選手権第3節は1日、札幌学院大グラウンドで1部Aブロックの1試合を行い、帯広畜産大が38-0で札幌学院大に勝った。この結果、Aブロックの最終順位は①北海道大（2勝）②帯広畜産大（1勝1敗）③札幌学院大（2敗）となった。また予定していた同Bブロックの北星学園大-室蘭工業大戦は、室蘭工業大が新型コロナウイルス対策で棄権したため北星学園大の不戦勝となった。室蘭工業大は第1節に続いての不戦敗。Bブロックの最終順位は①北海学園大（2勝）②北星学園大（1勝1敗）③室蘭工業大（2敗）。

最終節の3日は、両ブロック1位の北海道大と北海学園大の優勝決定戦（午前10時、北海学園清田グラウンド）を行い、勝者がパインボウル（11月23日、仙台）で東北学生リーグの優勝校と対戦する。

帯広畜産大は第1Q、3分にK樋田亘哉（4年、帯広大谷高）の27ヤードFGで先制すると、7分にはWR/DB山村達也（3年、江別・大麻高）が26ヤードのインターセプトリターンTD。PATも樋田が走り込んで、11-0とリードし、試合の主導権を握った。



帯広畜産大は第2Qも、2分にWRからTBにモーションした山村が中央を突いて3ヤードTDラン。第3Qにもゴール前からの攻撃で山村が飛び込み、この日3本目のTDを奪った。第4Qには、QB貫井哲平（3年、千葉・船橋東高）からWR福島将太（4年、帯広大谷高）への12ヤードTDパス、RB渡辺駿（4年、愛知・中部大春日丘高）の3ヤードTDランでリードを広げた。

札幌学院大は、エースRBアンダーソン・真・グレン（4年、北広島西高）が帯広畜産大のDT三上雅輝（4年、札幌第一高）やS白川天悠（4年、札幌清田高）らにラン、パス合わせて17回計11ヤードに封じられ、好機でのフアンブルや反則も痛かった。

帯広畜産大の三上主将は「守備の出来が良く、攻撃の流れをつかめた。3年間同じ顔ぶれの攻撃ラインがランを出し、初先発のQBも勉強して頑張った。今季はこの試合だけになったが、やってきたことをすべて出せた」と3年ぶりの札幌学院大勝利を喜んだ。3TD、2インターセプトと大活躍の山村も「最初のインターセプトTDは狙っていた。守備ラインの圧力のおかげ。去年の札幌学院大戦で同点のセイフティを奪われたときのキャリアーは自分だったので、今日はいい試合になった」とリベンジに満足そうだった。

【記録】

▽1部Aブロック

	1Q	2Q	3Q	4Q	計
札幌学院大（2敗）	0	0	0	0	0
帯広畜産大（1勝1敗）	11	7	6	14	38

▽同Bブロック

北星学園大（1勝1敗） 不戦勝 室蘭工業大（2敗）